

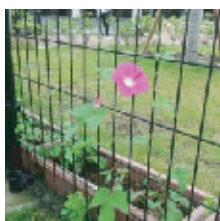
# 宇治支援学校の言葉

ウジシエンガッコウのことば

平成24年度 No.2 7/20発行

京都府立宇治支援学校

〒611-0031 京都府宇治市広野町丸山10  
TEL 0774-41-3701 / FAX 0774-45-2220



梅雨明けと同時に猛暑の学期末となりました。保護者の皆様におかれましては、本校の教育活動に御理解と御支援をいただきありがとうございます。

御心配をおかけしました計画停電は実施されなく、ほっとしているところですが、9月まで予定されていますので、今後とも御協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

さて、平成24年度の1学期を終えますが、1学期の始業式で次の3つの目標を子どもたちに伝えていました。

- ①元気にあいさつをしよう
- ②元気に学校に来よう
- ③いいところを見つけよう

朝、子どもたちが登校してくる時、校門で子どもたちを向かえています。1学期のはじめの頃よりも子どもたちが元気に「おはようございます」とあいさつを返してくれるようになりました。こちらがあいさつするよりも先に、あいさつをしてくれる子どもも多くなりました。また、スクールバス等で登校している子どもたちも、バスの中から笑顔とともに大きく手を振ってあいさつしてくれています。

私のほうも、一日がこうした気持ちのいいあいさつで始まることで元気になります。あいさつはコミュニケーションのもっとも基本的な力です。あいさつをはじめとしたコミュニケーションの力は社会の中で人と人との関係を作っていく大切な力です。子どもによって、大きな声であいさつできる人、はずかしげに小さな声でそっとあいさつする人、言葉ではなくて動作や仕草、表情であいさつする人、そのあいさつの方法は異なりますが、一人一人にあったあいさつができ、人との関係が築けていければと思います。そのためにも、まず私達教職員がしっかりとあいさつをする、そういう姿を子どもたちに見せていき、言葉であいさつをしなさいと指導するだけではなく、自然とあいさつをする環境を作りたいと考えています。そうして、いつも元気なあいさつが行き交っている宇治支援学校にしていきたいです。

この1学期、子どもたちはそれぞれに日々の活動を楽しみ、またぐっとがんばり、自分の力を一杯発揮することができたことと思います。

私達は、日々の学習の中で、活動の中で、子どもたちの見せる笑顔や子どもたちの挑戦する姿、輝く姿等をタイムリーに保護者の方に伝えていくこととしています。たくさんの喜びを皆様に伝え、子どもたち、保護者の皆様、教職員とが「喜びをともにする」ことができたでしょうか。

十分に伝えられなかった点は、今後も引き続き取り組んでいき、これからも「喜びは ともにあること」を大切に一生懸命教育活動を行っていきたいと考えます。

長い夏休みに入りますが、猛暑が予想されます。体調管理にはくれぐれも御留意いただき、2学期に元気な姿で登校してくれることを願っています。

校長 澤田 均



## 小学部



小学部は、『のびのびタイム』という授業を、グループ毎に、月1～2回設定しています。地域で活躍されている皆さんと過ごす時間を通じて、豊かな人間性を育むことや、将来、地域の方とのかかわりを作っていく基盤にすることをねらいに進めています。今年度は、参加していただける団体が増え、より豊富な内容になりました。

ミュージックケア「ゆめハウス」による音楽療法的な活動、「お話玉手箱」・阿部さん、近江さんによる読み聞かせ、「おはなしサークルたんぼぼ」による読み聞かせやお話遊び、「読書サークル 本の森」によるパネルシアターや大型影絵、後藤さん奥村さんらによる人形劇やパネルシアター、「城陽おはなしサークル」酒井さん、初山さんによる素話、紙芝居、パネルシアターです。

子どもたちは、この時間を楽しみに待っていて、とても集中して参加します。

学期の終わりには、プレゼントや手紙を書いて、感謝の気持ちを表しています。

## 中学部



中学部では、学校のある宇治の特産の「お茶」を題材にした学習に取り組みました。1年生は塔の島付近にある「対鳳庵」に行ってお抹茶体験をし、2年生は茶畑に行ってお茶摘み体験をしました。3年生は、藪内流の先生に来ていただき、お茶の作法を教えていただきました。また、世界でどんなお茶が飲まれているのか調べました。さらにお茶を使って布を染め、染めた布を使ってコースターを作るなど「お茶」という題材を活用して日常生活につながる活動に取り組みました。学校の中だけでなく地域に出かけて地域の方ともかかわること、本物に触れる体験を持つこともこれからも大切にしたいと考えています。

## 高等部



「日頃から取り組んでいる学習を校外に飛び出して活かせないか」「地域の方とつながる取組はできないか」と昨年度に引き続き、地域貢献活動として公園清掃を先日行いました。今学期はくらし職業コースの3年生です。いつもの授業とはやり方が異なりますが、自分でできる作業を見つけて、任された仕事を最後まで取り組みました。公園には、ゲートボールを楽しむ方やお子様連れの親子が来られていて、「ご苦労様」など声をかけていただき、生徒達も喜んでいました（やりがいを感じていました）。また、遊んでいる子どもからも「そうじしているの？」と聞かれ戸惑う場面も、生徒も地域の子ども達も掃除のあとの公園を心地よく感じてくれたらいいかな。小さな築きをこれからも続けていきたい。

## SSC



宇治支援学校には、地域で学ぶ子ども達・保護者・先生方を支援する機関が2つあります。ひとつは、宇治市・城陽市をサポートする『地域支援センターうじ』、もうひとつは、京都府内全域をサポートする『京都府スーパーサポートセンター（SSC）』です。

SSCには、その業務のひとつに研修支援があります。府内全域の各学校や地域で企画される研修に対して、依頼に基づき研修講師のコーディネートをしています。今年度は現段階で62件ありました。これは去年度1年間の総数を超えた件数です。また、府南部のお子さんに対しては、視覚相談・聴覚相談も行っています。来所相談の他、学校や園に出向いての巡回相談もしています。こちら、相談件数は既に去年度1年間の総数を超えました。（本校に在籍のお子さんに対しても相談をしています。）担任しているお子さんのことや指導の在り方を「分きたい」「学びたい」、そういった意識が高まってきているのではと思います。先生達の「分きたい」「学びたい」が、目の前の子ども達の「分きたい」「学びたい」につながるよう、SSCも地域支援センターうじも引き続き取組を進めたいと思います。